

事務事業評価調書

事務事業名	安全衛生事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方公務員法第42条、労働安全衛生法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	教育委員会事務局職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	衛生管理者の資格取得。 職員が日々安全に働くことができる職場環境の整備。												
(7) 事業概要	衛生管理者の資格取得による、職場の安全衛生の確保。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	01	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		20	9	20	16	0							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00						
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	0						
	総事業費(A+B)		4,196	4,029	4,105	3,966	0							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,196	4,029	4,105	3,966	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,196	4,029	4,105	3,966	0								
財源計(C+D)		4,196	4,029	4,105	3,966	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	研修の受講、試験の受験												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 研修の受講	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	研修の実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 資格の取得	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	0.00
	実績値			(単位:回)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	試験の合格	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	人事異動等を踏まえると、継続的に資格取得者を増やす必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	安全衛生事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00831				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00831
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>50名以上200名以下の職員を要する職場には必ず1名の衛生管理者が必要であり、加えて学校現場に勤務する校務員にも資格取得が必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、小学校設置基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市立小学校36校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	学校設置目的である初等普通教育を行うための教育環境の整備。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。													
(7)	事業概要	教育環境の整備を図るため、学校事務員(臨時雇用員)及び校務員(臨時雇用員)の任用並びに環境整備に関する樹木剪定及び草刈りなど校務員業務の一部を委託等。校具・教具として必要な消耗品や備品等を整備し、初等教育の円滑な実施及び一部民間委託も用いた施設の管理。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,047,061	923,944	1,075,414	941,074	1,001,720							
		人件費	職員数	人	25.20	25.20	19.60	19.60	15.60						
			総額(B)	千円	210,471	202,583	160,132	154,840	125,612						
		総事業費(A+B)		1,257,532	1,126,527	1,235,546	1,095,914	1,127,332							
		特定財源(C)		332	299	310	0	810							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		332	299	310	0	810						
		市負担(D)		1,257,200	1,126,228	1,235,236	1,095,914	1,126,522							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,257,200	1,126,228	1,235,236	1,095,914	1,126,522								
財源計(C+D)		1,257,532	1,126,527	1,235,546	1,095,914	1,127,332									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人吹田市シルバー人材センター										
				②	日東カストディアル・サービス(株)ほか										
				③	毎美エンジニアリング(株)ほか										
		主な委託内容		環境整備、施設警備、便所清掃業務ほか											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 教育環境の整備	目標値	(単位:校)	36.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:校)	36.00	36.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	小学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		31,292.42	30,589.06	
				一般財源(単位:千円)		31,284.11	30,589.06	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		小学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難 な 場合 示 す		①	指標内容 学校教育の円滑な実施	目標値	(単位:)	36.00	36.00	36.00
	実績値			(単位:)	36.00	36.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	小学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		31,292.42	30,589.06	
				一般財源(単位:千円)		31,284.11	30,589.06	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容 学校教育の円滑な実施				達成状況	学校運営を円滑に行うことができた。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	<p>学校教育法(第5条)及び小学校設置基準(第11条)で、学校設置者には学校を管理し、学校の経費を負担、指導上、保健衛生上、安全上必要となる校具・教具を備え、常に改善し、補充しなければならないと規定されていることから、本事業は継続して実施するものである。</p> <p>なお、年次的に整備していく普通教室の空調設備に係る電気代や平成25年4月1日及び平成27年4月1日からの電気料金の値上げにより、枠配分予算内での経費捻出が困難な状況であり、教材整備など、教育環境に大きく影響を及ぼしている。</p>						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00832				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00832
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成23年度の吹田市事業見直し会議で校務員業務アウトソーシング推進の結果を受けて、小・中学校の校務員業務のうち、除草、樹木剪定及び清掃等の一部を拡大して業者へ委託している。委託料は増加するが、校務員退職者(再任用含む)の不補充に対し、臨時雇用員を活用することでここには出てこないが、人件費の抑制につながっている。</p> <p>校具・教具の整備においては、各学校の学校目標や教育目標等の特色を生かせるよう学校長の裁量と権限のもと学校配分予算を執行しているため、限られた厳しい予算状況ではあるが、効果的に実施している。また、施設管理の一部を民間委託することでより安全で衛生的な教育環境を維持しているところである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市立中学校18校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	学校設置目的である中等普通教育を行うための教育環境の充実												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生徒の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。													
(7)	事業概要	教育環境の整備を図るため、学校事務員(臨時雇用員)及び校務員(臨時雇用員)の任用並びに環境整備に関する樹木剪定及び草刈りなど校務員業務の一部を委託等。校具・教具として必要な消耗品や備品等を整備し、中等教育の円滑な実施及び一部民間委託も用いた施設の管理。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	03	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		471,831	424,469	468,954	430,069	452,950							
		人件費	職員数	人	19.60	19.65	19.80	19.80	19.80						
			総額(B)	千円	163,700	157,967	161,766	156,420	159,430						
		総事業費(A+B)		635,531	582,436	630,720	586,489	612,380							
		特定財源(C)		4,113	4,272	560	0	535							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	4,113	4,272	560	0	535							
		市負担(D)		631,418	578,164	630,160	586,489	611,845							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	631,418		578,164	630,160	586,489	611,845									
財源計(C+D)		635,531	582,436	630,720	586,489	612,380									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人吹田市シルバー人材センター										
				②	日東カストディアル・サービス(株)ほか										
				③	鳳産業(株)ほか										
		主な委託内容		環境整備、施設警備、便所清掃業務ほか											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 教育環境の整備	目標値	(単位:校)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:校)	18.00	18.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 中学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	32,357.56	32,879.72		
			一般財源(単位:千円)	32,120.22	32,879.72		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 学校教育の円滑な実施	目標値	(単位:校)	18.00	18.00	/
			実績値	(単位:校)	18.00	18.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 中学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	32,357.56	32,879.72		
			一般財源(単位:千円)	32,120.22	32,879.72		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>学校教育法(第5条)及び中学校設置基準(第11条)で、学校設置者には学校を管理し、学校の経費を負担、指導上、保健衛生上、安全上必要となる校具・教具を備え、常に改善し、補充しなければならないと規定されていることから、本事業は継続して実施するものである。</p> <p>なお、年次的に整備していく普通教室の空調設備に係る電気代や平成25年4月1日及び平成27年4月1日からの電気料金の値上げにより、枠配分予算内での経費捻出が困難な状況であり、教材整備など、教育環境に大きく影響を及ぼしている。</p>				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00833				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00833
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度の吹田市事業見直し会議で校務員業務アウトソーシング推進の結果を受けて、小・中学校の校務員業務のうち、除草、樹木剪定及び清掃等の一部を拡大して業者へ委託している。委託料は増加するが、校務員退職者(再任用含む)の不補充に対し、臨時雇用員を活用することでここには出てこないが、人件費の抑制につながっている。</p> <p>校具・教具の整備においては、各学校の学校目標や教育目標等の特色を生かせるよう学校長の裁量と権限のもと学校配分予算を執行しているため、限られた厳しい予算状況ではあるが、効果的に実施している。また、施設管理の一部を民間委託することでより安全で衛生的な教育環境を維持しているところである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校教師用教科書等配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	小学校36校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	授業に必要な教科書・指導書等の教師への配付。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	充実した教育の実施。													
(7)	事業概要	教師に教科書及び指導書等を配付することによる、充実した教育の実施。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		128,024	126,997	9,827	7,665	10,501							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	817	790	806						
		総事業費(A+B)		129,695	128,605	10,644	8,455	11,307							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		129,695	128,605	10,644	8,455	11,307							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	129,695		128,605	10,644	8,455	11,307									
財源計(C+D)		129,695	128,605	10,644	8,455	11,307									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 教師への教科書・指導書の配付	目標値	(単位:人)	1,103.00	1,132.00	1,142.00	
			実績値	(単位:人)	1,103.00	1,132.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	配付必要見込人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		116.60	7.49	
				一般財源(単位:千円)		116.60	7.49	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 充実した教育の実施	目標値	(単位:校)	36.00	36.00	36.00
	実績値			(単位:校)	36.00	36.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3,572.36	235.61	
				一般財源(単位:千円)		3,572.36	235.61	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	学校教育法(第34条)に基づき、授業を行ううえで必要な教師用教科書及び指導書等を配付するため本事業は継続して実施するものである。						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校教師用教科書等配付事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00847				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00847
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>学習指導要領が4年毎に改訂されることに伴い、教科書及び指導書を一新するための購入経費が多額となる。前々回の改訂時(平成23年度)には、従来の配付基準の見直しを行い、必要最低限の購入に留めた が、教育環境の充実を図るためにはこれ以上の経費削減等の見直しは困難である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校卒業記念品配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	小学校6年生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	小学校の全課程を修了したことを祝うとともに、修学の達成感を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	修学の達成感や今後の新たな生活への意欲の保持。													
(7)	事業概要	小学校の教育課程の修了を祝い、児童に記念品を支給。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		926	897	980	981	936							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	418	402	409	396	403						
		総事業費(A+B)		1,344	1,299	1,389	1,377	1,339							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,344	1,299	1,389	1,377	1,339							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,344	1,299	1,389	1,377	1,339								
財源計(C+D)		1,344	1,299	1,389	1,377	1,339									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	卒業生への配付記念品の購入	目標値	(単位:人)	3,347.00	3,546.00	3,370.00	
			実績値	(単位:人)	3,347.00	3,546.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	市立小学校と支援学校卒業生見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.39	0.39	
				一般財源(単位:千円)		0.39	0.39	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	卒業生への記念品の配付	目標値	(単位:人)	3,347.00	3,529.00	3,370.00	
			実績値	(単位:人)	3,347.00	3,536.00		
			達成度(%)		100.0	100.2		
	目標値の積算方法	市立小学校と支援学校(吹田市内在住に限る)卒業生への配付	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.39	0.39	
				一般財源(単位:千円)		0.39	0.39	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		小学校の教育課程を修了し、記念品を受け取るにより成し遂げたことに対して評価されたという達成感が高まり、新たな学校生活に向けての意欲につながると考えるため、本事業は継続して実施するものである。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校卒業記念品配付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00848				

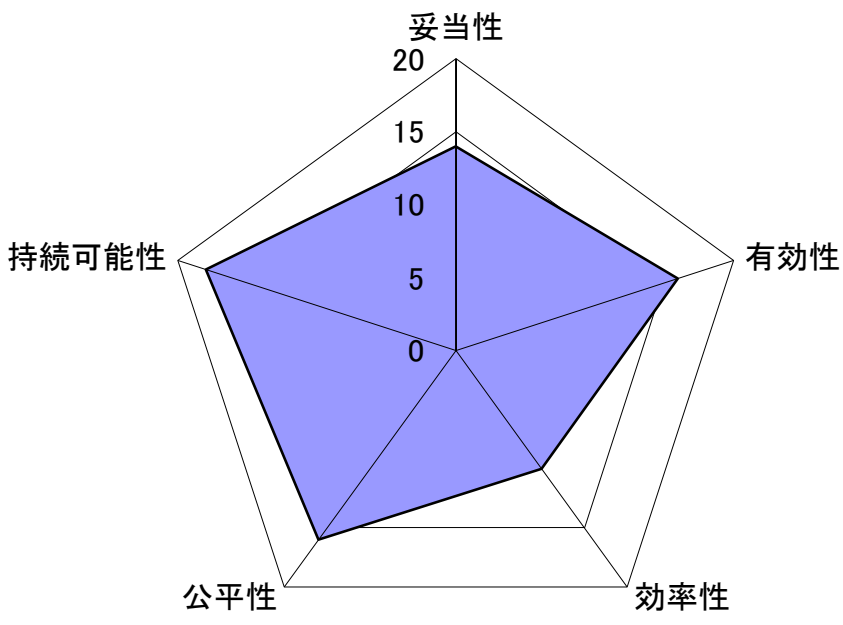
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00848
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年度のゼロクリア大作戦において、物品の選考や購入単価等において見直しを行ったが、厳しい財政状況の下、安価なものでも記念になるものとして、市のイメージキャラクターすいたん入りのオリジナルグッズ(書類入れ)を記念品として配付している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校設備・備品等更新事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	学校教育法、小学校設置基準						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	小学校36校のうち、建築後20年以上経過した校舎の老朽化対策に伴う内装工事による、スクールロッカー及び保管庫等の備品					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スクールロッカー及び保管庫等の備品の更新。					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	日常の学校生活の円滑な運営。					
(7)	事業概要	建築後20年以上経過した校舎の老朽化対策に伴い、内装工事を実施する教室において、スクールロッカー及び保管庫等の備品を年次的に更新する。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 02	目 01	大事業 03	中事業 04	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		1,658	578	23,248	0	28,980
		人件費	職員数	0.05	0.05	0.05	0.00	0.05
			総額(B)	418	402	409	0	403
		総事業費(A+B)		2,076	980	23,657	0	29,383
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		2,076	980	23,657	0	29,383
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
			一般財源	2,076	980	23,657	0	29,383
財源計(C+D)		2,076	980	23,657	0	29,383		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 スクールロッカー及び保管庫等の更新	目標値	(単位:校)	0.00	4.00	/
			実績値	(単位:校)	0.00	4.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 大規模改造工事に伴う、スクールロッカー及び保管庫等の更新が必要な学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 良好な学校生活環境の整備	目標値	(単位:校)	0.00	26.00	/
			実績値	(単位:校)	0.00	4.00	
			達成度(%)		0.0	15.4	
	目標値の積算方法 大規模改造工事に伴う、スクールロッカー及び保管庫等の更新を必要とする学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び小学校設置基準(第11条)で学校設置者には学校を管理し学校の経費を負担し指導上保健衛生上安全上必要となる校具・教具を備え常に改善し補充しなければならないと規定されていることから本事業は継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校設備・備品等更新事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00849				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00849
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>建築後20年以上経過した校舎の老朽化対策に伴う、内装工事を実施する教室において、スクールロッカー及び保管庫等を更新する必要がある、資産経営室所管分の大規模改造工事と連携した取り組みが必要である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校理科教育設備整備事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、小学校設置基準、理科教育振興法、理科教育振興法令													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	小学校36校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	国庫補助制度を活用した、理科教材の整備。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	理科教育の充実。													
(7)	事業概要	理科教育振興法に基づく、国庫補助制度を活用した理科教材の整備。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	03	中事業	05	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,000	992	1,000	996	1,000							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	409	396	403						
		総事業費(A+B)		2,671	2,600	1,409	1,392	1,403							
		特定財源(C)		500	496	500	497	500							
		(内訳)	国	500	496	500	497	500							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		2,171	2,104	909	895	903							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	2,171		2,104	909	895	903									
財源計(C+D)		2,671	2,600	1,409	1,392	1,403									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 国庫補助制度を活用して理科教育設備の整備	目標値	(単位:校)	5.00	5.00	5.00
			実績値	(単位:校)	5.00	5.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 国庫補助制度を活用した理科教育設備整備対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	520.00	281.00		
			一般財源(単位:千円)	420.80	181.60		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 整備した設備による理科教育の実施	目標値	(単位:校)	36.00	36.00
	実績値			(単位:校)	36.00	36.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法 整備した設備による理科教育の実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	72.22	39.03		
			一般財源(単位:千円)	58.44	25.22		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び小学校設置基準(第11条)で学校設置者には学校を管理し、学校の経費を負担し、指導上、保健衛生上、安全上必要となる校具・教具を備え、常に改善し、補充しなければならないと規定されている。また本事業は、理科教育振興法により定められた理科教育設備の整備に対して、国が1/2の補助率で経費を補助するという制度を活用することで効果的に教材整備ができることから継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校理科教育設備整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00850				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00850
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>国庫補助制度を活用する事業であるため、これまで年5校程のペースで年次的な整備を行ってきたが、平成21年度に国の補正予算である地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、一定の整備ができたことから、平成22年度から24年度においては事業実施を見送りとした経過はあるが、平成23年度の学習指導要領の改定で、授業内容及び時間の増加など教育環境の変化に伴い新たに必要となる教材もあるため、更なる教育環境の充実を図れるよう、今後も年次的に事業を実施していく必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	小学校安全対策事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正内容	大阪府の学校安全対策交付金要綱の終了											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小学校児童(対象数36校)											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	校門において、不審者の侵入防止・抑制、来訪者の受付・確認及び緊急時の連絡・通報を実施による、児童の学校内での安全の確保。 安心・安全な学校の確立。												
(7) 事業概要	小学校におけるより徹底した防犯体制の確立と、警備員等の各校1名配置による児童の安全の確保。 校門付近の常時監視により、来校者の受付・確認を行い、不審者の侵入防止・抑制及び緊急時の迅速な連絡体制の確立。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	大事業	07	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		62,714	61,246	63,180	63,180	71,190							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	817	790	806						
	総事業費(A+B)		64,385	62,854	63,997	63,970	71,996							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		64,385	62,854	63,997	63,970	71,996							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		64,385	62,854	63,997	63,970	71,996								
財源計(C+D)		64,385	62,854	63,997	63,970	71,996								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 株式会社SAKAE											
			② 大阪中央警備保障株式会社											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 株式会社双葉化学商会											
			主な委託内容 校門付近の常時監視、不審者侵入時等の通報											
①														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 小学校警備員等配置校数	目標値	(単位:校)	36.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:校)	36.00	36.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	全市立小学校(36校)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,745.94	1,777.69	
				一般財源(単位:千円)		1,745.94	1,777.69	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
の3が困難な場合	①	活動内容	学校内への不審者侵入件数(学校等からの報告件数)			目標	0件	
	②	成果内容	学校内への不審者侵入件数(学校等からの報告件数)は、0件でした。			達成状況	0件	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		現状分析からもわかるように、人による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も配置は必要である。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	小学校安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00852				

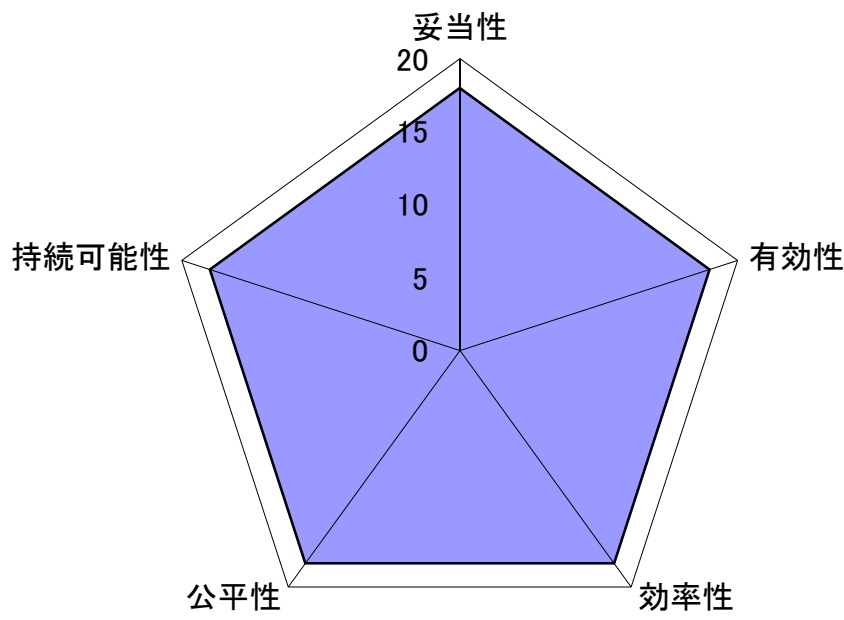
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00852
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度吹田市事業見直し会議において、本事業について縮小という結論が出されたが、学校における児童の安全を確保するためには、警備員等による立哨が大きな抑止力となっており、実際に昼間の不審者の侵入は発生していない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校教師用教科書等配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	学校教育法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	中学校18校											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	授業に必要な教科書・指導書等の教師への配付。 充実した教育の実施。												
(7) 事業概要	教師に教科書及び指導書等を配付することによる、充実した教育の実施。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	03	目	01	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		931	924	45,150	45,582	1,424							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
	総事業費(A+B)		1,767	1,728	45,967	46,372	2,230							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,767	1,728	45,967	46,372	2,230							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,767	1,728	45,967	46,372	2,230								
財源計(C+D)		1,767	1,728	45,967	46,372	2,230								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 教師への教科書・指導書の配付	目標値	(単位:人)	591.00	617.00	616.00	
			実績値	(単位:人)	591.00	617.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	配付必要見込人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.92	75.20	
				一般財源(単位:千円)		2.92	75.20	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 充実した教育の実施	目標値	(単位:校)	18.00	18.00	18.00	
			実績値	(単位:校)	18.00	18.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		96.00	2,577.72	
				一般財源(単位:千円)		96.00	2,577.72	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		学校教育法(第34条)に基づき、授業を行ううえで必要な教師用教科書及び指導書等を配付するため本事業は継続して実施するものである。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校教師用教科書等配付事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00861				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00861
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>学習指導要領が4年毎に改訂されることに伴い、教科書及び指導書を一新するための、購入経費が多額となる。前々回の改訂時(平成24年度)には、従来の配付基準の見直しを行い、必要最低限の購入に留めた が、教育環境の充実を図るためにはこれ以上の経費削減等の見直しは困難である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校卒業記念品配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中学校3年生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	中学校の全課程を修了したことを祝うとともに、修学の達成感を促す。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	修学の達成感や今後の新たな生活への意欲の保持。												
(7)	事業概要	中学校の教育課程の修了を祝い、記念品を支給する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	03	目	01	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		628	626	620	611	644							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	418	402	409	396	403						
		総事業費(A+B)		1,046	1,028	1,029	1,007	1,047							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,046	1,028	1,029	1,007	1,047							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,046	1,028	1,029	1,007	1,047								
財源計(C+D)		1,046	1,028	1,029	1,007	1,047									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	卒業生への配付記念品の購入	目標値	(単位:人)	3,170.00	3,112.00	3,172.00	
			実績値	(単位:人)	3,170.00	3,112.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	市立中学校と支援学校卒業生見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.32	0.33	
				一般財源(単位:千円)		0.32	0.33	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	卒業生への記念品の配付	目標値	(単位:人)	3,170.00	3,122.00	3,172.00	
			実績値	(単位:人)	3,170.00	3,122.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	市立中学校と支援学校(吹田市内在住に限る)卒業生への配付	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.32	0.33	
				一般財源(単位:千円)		0.32	0.33	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		中学校の教育課程を修了し、記念品を受け取るにより成し遂げたことに対して評価されたという達成感が高まり、新たな生活に向けての意欲につながると考えるため本事業は継続して実施するものである。					

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校卒業記念品配付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00862				

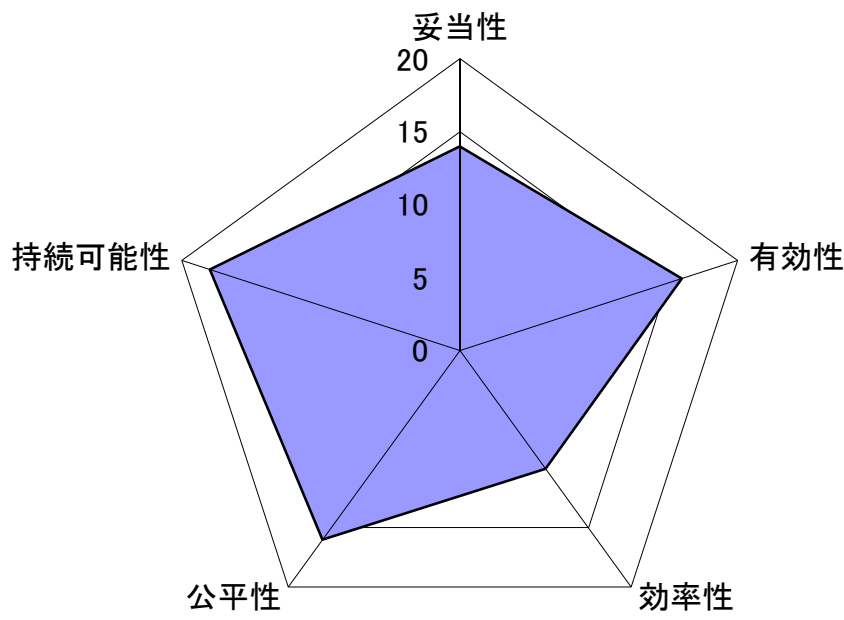
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	教育総務室	事務事業番号	00862
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	8	公平性	5	持続可能性	12
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	8														
公平性	5														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>平成21年度のゼロクリア大作戦において、物品の選考や購入単価等において見直しを行ったが、厳しい財政状況の下、安価なものでも記念になるものとして、市のイメージキャラクターすいたん入りのオリジナルグッズ(手鏡)を記念品として配付している。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校設備・備品等更新事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	中学校18校のうち、建築後20年以上経過した校舎の老朽化対策に伴う内装工事による、スクールロッカー及び保管庫等の備品					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スクールロッカー及び保管庫等の備品の更新。					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	日常の学校生活の円滑な運営。					
(7)	事業概要	建築後20年以上経過した校舎の老朽化対策に伴い、内装工事を実施する教室において、スクールロッカー及び保管庫等の備品を年次的に更新する。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 03	目 01	大事業 03	中事業 04	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		829	0	15,582	12,334	7,265
		人件費	職員数	0.05	0.00	0.05	0.05	0.05
			総額(B)	418	0	409	396	403
		総事業費(A+B)		1,247	0	15,991	12,730	7,668
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		1,247	0	15,991	12,730	7,668
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,247		0	15,991	12,730	7,668		
財源計(C+D)		1,247	0	15,991	12,730	7,668		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 スクールロッカー及び保管庫等の更新	目標値	(単位:校)	0.00	2.00	1.00
			実績値	(単位:校)	0.00	2.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 大規模改造工事に伴う、スクールロッカー及び保管庫等の更新が必要な学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	6,371.50	
			一般財源(単位:千円)		0.00	6,371.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 良好な学校生活環境の整備	目標値	(単位:校)	0.00	17.00	15.00
			実績値	(単位:校)	0.00	2.00	
			達成度(%)		0.0	11.8	
	目標値の積算方法 大規模改造工事に伴う、スクールロッカー及び保管庫等の更新を必要とする学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	6,371.50	
			一般財源(単位:千円)		0.00	6,371.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び中学校設置基準(第11条)で、学校設置者には学校を管理し学校の経費を負担し指導上保健衛生上安全上必要となる校具・教具を備え常に改善し補充しなければならないと規定されていることから本事業は継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校設備・備品等更新事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00863				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00863
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	12	公平性	8	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	12														
公平性	8														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>建築後20年以上経過した校舎の老朽化対策に伴う、内装工事を実施する教室において、スクールロッカー及び保管庫等を更新する必要がある、資産経営室所管分の大規模改造工事と連携した取り組みが必要である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校理科教育設備整備事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	学校教育法、中学校設置基準、理科教育振興法、理科教育振興法令													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	中学校18校												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	国庫補助制度を活用した、理科教材の整備。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	理科教育の充実。													
(7)	事業概要	理科教育振興法に基づく、国庫補助制度を活用した理科教材の整備。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	03	目	01	大事業	03	中事業	05	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		600	596	600	5,850	600							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	836	804	409	396	403						
		総事業費(A+B)		1,436	1,400	1,009	6,246	1,003							
		特定財源(C)		300	298	300	292	300							
		(内訳)	国	300	298	300	292	300							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		1,136	1,102	709	5,954	703							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	1,136		1,102	709	5,954	703									
財源計(C+D)		1,436	1,400	1,009	6,246	1,003									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 国庫補助制度を活用して理科教育設備の整備	目標値	(単位:校)	3.00	3.00	3.00
			実績値	(単位:校)	3.00	3.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	国庫補助制度を活用した理科教育設備整備対象学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		466.67	2,086.33
				一般財源(単位:千円)		367.33	1,989.00
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(2) 成果指標		①	指標内容 整備した設備による理科教育の実施	目標値	(単位:校)	18.00	18.00
	実績値			(単位:校)	18.00	18.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	整備した設備による理科教育の実施学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		77.78	347.72
				一般財源(単位:千円)		61.22	331.50
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校教育法(第5条)及び中学校設置基準(第11条)で学校設置者には学校を管理し学校の経費を負担し指導上保健衛生上安全上必要となる校具・教具を備え常に改善し補充しなければならないと規定されている。また本事業は理科教育振興法により定められた理科教育設備の整備に対して国が1/2の補助率で経費を補助するという制度を活用することで効果的に教材整備ができることから継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	中学校理科教育設備整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00864				

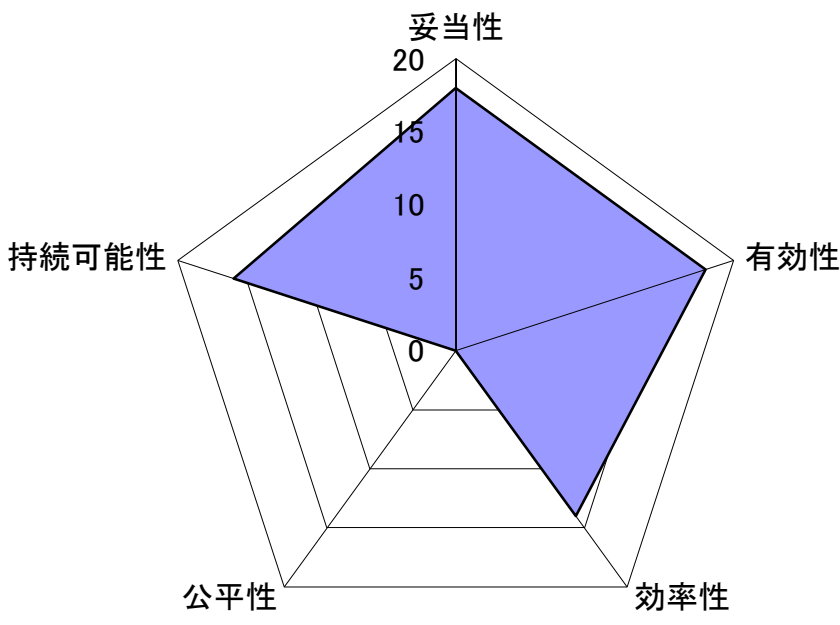
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00864
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国庫補助制度を活用する事業であるため、これまで年5校程のペースで年次的な整備を行ってきたが、平成21年度に国の補正予算である地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、一定の整備ができたことから、平成22年度から24年度においては事業実施を見送りとした経過はあるが、平成24年度の学習指導要領の改定で、授業内容及び時間の増加など教育環境の変化に伴い新たに必要となる教材もあるため、更なる教育環境の充実を図れるよう、今後も年次的に事業を実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園卒園記念品配付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	幼稚園5歳児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	幼稚園の全過程を修了したことを祝うとともに、修学の達成感を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	修学の達成感や今後の新たな生活への意欲の保持。													
(7)	事業概要	幼稚園の教育課程の修了を祝い、園児に記念品を支給。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	04	目	01	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		202	199	151	166	0							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00						
			総額(B)	千円	84	81	82	80	0						
		総事業費(A+B)		286	280	233	246	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		286	280	233	246	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	286		280	233	246	0									
財源計(C+D)		286	280	233	246	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 卒園生への配付記念品の購入	目標値	(単位:人)	530.00	405.00	0.00	
			実績値	(単位:人)	530.00	405.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	卒園見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.53	0.61	
				一般財源(単位:千円)		0.53	0.61	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 卒園生への記念品の配付	目標値	(単位:人)	530.00	405.00	0.00
	実績値			(単位:人)	530.00	405.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	卒園生への記念品の配付配付数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.53	0.61	
				一般財源(単位:千円)		0.53	0.61	
	(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標		
	成果内容				達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	幼稚園の全課程を修了し、記念品を受け取るにより成し遂げたことに対して評価された達成感が生じ、新たな学校生活に向けての意欲につながると考えるため本事業は継続して実施するものである。ただし、平成29年度以降は、保育幼稚園室所管にて、継続して実施するものである。						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	幼稚園卒園記念品配付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00871				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00871
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	15	有効性	10	効率性	8	公平性	5	持続可能性	12
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	8														
公平性	5														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>平成21年度のゼロクリア大作戦で物品の選考や購入単価等において見直しを行ったが、記念品代としての直接負担ではないものの、幼稚園保育料を保護者負担として徴収していることから、これ以上のコストを下げるためには、保護者の理解を求める必要がある。 ただし、卒園記念品の配付については、平成29年度以降、保育幼稚園室に移管します。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園安全対策事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正内容	なし																																																																																									
(2)	直近の改正	なし																																																																																											
(3)	根拠法令等	なし																																																																																											
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり) 一部にチェックした場合はその説明																																																																																											
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 01	細節 21																																																																																								
(6)	目的	対象(誰を、何を) 区分 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 範囲等 市立幼稚園児(対象数16園) 目標(どういう状態にしたいのか) 園門において、不審者の侵入防止・抑制、来訪者の受付・確認及び緊急時の連絡・通報の実施による、園児の園内での安全の確保。 結果(どのような効果が得られるのか) 安心・安全な幼稚園の確立。																																																																																											
(7)	事業概要	幼稚園におけるより徹底した防犯体制の確立及び警備員又は受付員の各園1名配置による園児の安全の確保。園門付近を常時監視により、来園者の受付・確認を行い、不審者の侵入防止・抑制及び緊急時の迅速な連絡体制の確立。																																																																																											
(8)	H28事業別予算コード	会計 01	款 10	項 04	目 01	大事業 07	中事業 01	小事業 01																																																																																					
(9)	事業費と財源の内訳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">平成27年度(2015年度)</th> <th colspan="2">平成28年度(2016年度)</th> <th>平成29年度(2017年度)</th> </tr> <tr> <th>予算(千円)</th> <th>決算(千円)</th> <th>予算(千円)</th> <th>決算見込(千円)</th> <th>予算(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>12,170</td> <td>11,905</td> <td>12,473</td> <td>12,287</td> <td>13,322</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>職員数 人</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> <td>0.02</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>総額(B) 千円</td> <td>418</td> <td>402</td> <td>164</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td>12,588</td> <td>12,307</td> <td>12,637</td> <td>12,287</td> <td>13,564</td> </tr> <tr> <td>特定財源(C)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(内訳)</td> <td>国</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>府</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>市負担(D)</td> <td>12,588</td> <td>12,307</td> <td>12,637</td> <td>12,287</td> <td>13,564</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(内訳)</td> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>12,588</td> <td>12,307</td> <td>12,637</td> <td>12,287</td> <td>13,564</td> </tr> <tr> <td>財源計(C+D)</td> <td>12,588</td> <td>12,307</td> <td>12,637</td> <td>12,287</td> <td>13,564</td> </tr> </tbody> </table>							項目	平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)	予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	事業費(A)	12,170	11,905	12,473	12,287	13,322	人件費	職員数 人	0.05	0.05	0.02	0.00	総額(B) 千円	418	402	164	0	総事業費(A+B)	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564	特定財源(C)	0	0	0	0	0	(内訳)	国	0	0	0	0	府	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	市負担(D)	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564	(内訳)	地方債	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	一般財源	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564	財源計(C+D)	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564
項目	平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)																																																																																								
	予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)																																																																																								
事業費(A)	12,170	11,905	12,473	12,287	13,322																																																																																								
人件費	職員数 人	0.05	0.05	0.02	0.00																																																																																								
	総額(B) 千円	418	402	164	0																																																																																								
総事業費(A+B)	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564																																																																																								
特定財源(C)	0	0	0	0	0																																																																																								
(内訳)	国	0	0	0	0																																																																																								
	府	0	0	0	0																																																																																								
	その他	0	0	0	0																																																																																								
市負担(D)	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564																																																																																								
(内訳)	地方債	0	0	0	0																																																																																								
	その他	0	0	0	0																																																																																								
	一般財源	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564																																																																																							
財源計(C+D)	12,588	12,307	12,637	12,287	13,564																																																																																								
(10)	実施方法(該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3">委託先</td> <td>①</td> <td>株式会社双葉化学商会</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>公益社団法人吹田市シルバー人材センター</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な委託内容</td> <td>園門付近の常時監視、不審者侵入時等の通報</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交付先</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 補助金・負担金</td> <td>内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他</td> <td>内容</td> <td></td> </tr> </table>							委託先	①	株式会社双葉化学商会	②	公益社団法人吹田市シルバー人材センター	③		主な委託内容		園門付近の常時監視、不審者侵入時等の通報	交付先	①		②		③		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	内容		<input type="checkbox"/> その他	内容																																																															
委託先	①	株式会社双葉化学商会																																																																																											
	②	公益社団法人吹田市シルバー人材センター																																																																																											
	③																																																																																												
主な委託内容		園門付近の常時監視、不審者侵入時等の通報																																																																																											
交付先	①																																																																																												
	②																																																																																												
	③																																																																																												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	内容																																																																																												
<input type="checkbox"/> その他	内容																																																																																												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 幼稚園警備員等配置園数	目標値	(単位:園)	16.00	16.00	16.00	
			実績値	(単位:園)	16.00	16.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	全市立幼稚園(16園)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		769.19	767.94	
				一般財源(単位:千円)		769.19	767.94	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
①	活動内容	幼稚園内への不審者侵入件数(園等からの報告件数)			目標	0件		
	成果内容	幼稚園内への不審者侵入件数(園等からの報告件数)は、0件でした。			達成状況	0件		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	現状分析からもわかるように、人による抑止効果は大きなものがあると考えており、今後も配置は必要である。						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	幼稚園安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00872				

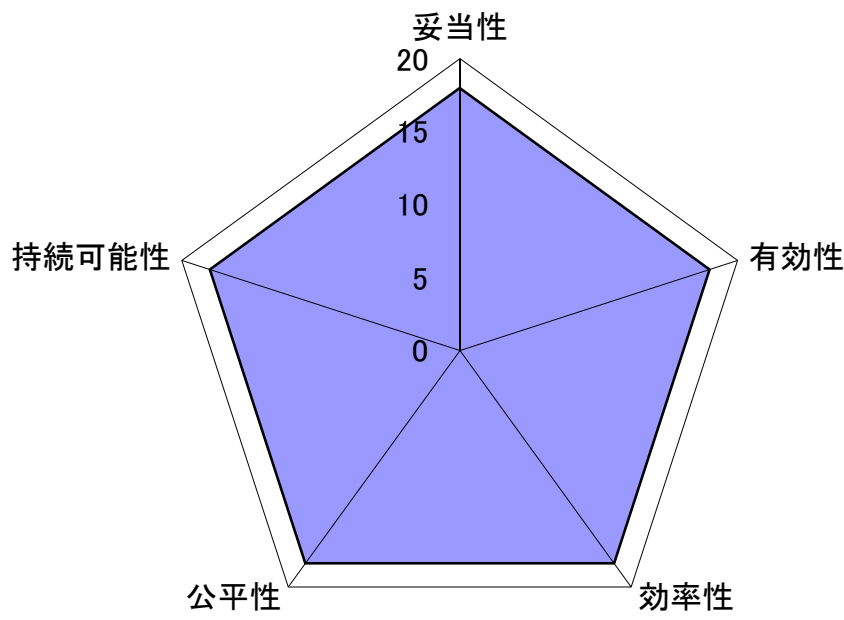
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	00872
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度吹田市事業見直し会議において、本事業について縮小という結論が出されたが、幼稚園における園児の安全を確保するためには、警備員又は受付員による立哨が大きな抑止力となっており、実際に昼間の不審者の侵入は発生していない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	幼稚園管理運営事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	学校教育法、幼稚園設置基準							
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	21	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立幼稚園16園					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	校具・教具等の整備及び施設管理による、教育環境の充実。 園児の心身の発達に応じた教育の円滑な実施。						
(7) 事業概要	園具・教具として必要な消耗品や備品等を整備し、就学前教育の円滑な実施及び一部民間委託も用いた施設の管理。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		6,273	5,748	5,719	6,182	7,221	
	人件費	職員数	人	0.24	0.24	0.17	0.17	0.17
		総額(B)	千円	2,005	1,930	1,389	1,344	1,369
	総事業費(A+B)		8,278	7,678	7,108	7,526	8,590	
	特定財源(C)		2,000	0	2,000	0	0	
	(内訳)	国	0	0	0	0	0	
		府	0	0	0	0	0	
		その他	2,000	0	2,000	0	0	
	市負担(D)		6,278	7,678	5,108	7,526	8,590	
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		6,278	7,678	5,108	7,526	8,590		
財源計(C+D)		8,278	7,678	7,108	7,526	8,590		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)双葉化学商会					
			② (社)吹田市シルバー人材センター					
			③					
	主な委託内容		単独幼稚園の夜間機械警備 幼稚園受付業務					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	安全で衛生的な施設管理	目標値	(単位:園)	16.00	16.00	16.00	
			実績値	(単位:園)	16.00	16.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	対象幼稚園	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		359.25	386.38	
				一般財源(単位:千円)		359.25	386.38	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	幼稚園教育の円滑な実施	目標値	(単位:園)	16.00	16.00	16.00
	実績値			(単位:園)	16.00	16.00		
	達成度(%)			100.0	100.0			
	目標値の積算方法	対象幼稚園	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		359.25	386.38	
				一般財源(単位:千円)		359.25	386.38	
	(4) 総合評価	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標		
②	成果内容				達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		<p>学校教育法(第5条)及び幼稚園設置基準(第10条)では、幼稚園設置者に幼稚園を管理し、幼稚園経費を負担し、教育上、保健衛生上、安全上必要な園具・教具を備え、常に改善し、補充することと規定されていることから、引き続き安全で衛生的な教育環境を維持していくため、本事業は継続して実施するものである。</p>						

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	幼稚園管理運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01368				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	教育総務室	事務事業番号	01368
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校教育法(第5条)及び幼稚園設置基準(第10条)では、幼稚園設置者に幼稚園を管理し、幼稚園経費を負担し、教育上、保健衛生上、安全上必要な園具・教具を備え、常に改善し、補充することと規定されていることから、本事業は継続して実施するものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年度から、事務の一部を児童部保育幼稚園室へ移管して実施している。

事務事業評価調書

事務事業名	通郵便送達事業				
担当部名	学校教育部	室課名	教育総務室	室課長名	岸上 孝司

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市立小中学校、幼稚園などの教育施設						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	教育委員会事務局と教育施設における定期的な連絡文書等の送達。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	信書便事業者に委託することで業務効率の改善、送達時間の短縮、セキュリティ強化及びコスト削減を図る。							
(7)	事業概要	教育委員会事務局と市立小中学校及び幼稚園等の教育施設との間における、連絡文書等の定期的な送達。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		7,806	7,806	7,806	7,806	8,429	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		7,806	7,806	7,806	7,806	8,429	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		7,806	7,806	7,806	7,806	8,429	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	7,806		7,806	7,806	7,806	8,429			
財源計(C+D)		7,806	7,806	7,806	7,806	8,429			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)ジェイアール西日本マルニックス千里支店				
				②					
				③					
		主な委託内容		連絡文書等の送達					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 連絡文書等の送達を必要とする施設への巡回	目標値	(単位:施設)	122.00	122.00	116.00
			実績値	(単位:施設)	122.00	122.00	/
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 巡回先の施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	63.98	63.98		
			一般財源(単位:千円)	63.98	63.98		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	各施設への連絡文書等の送達			達成状況	各施設への連絡文書等の送達を円滑に行うことができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		逓送便送達事業の業者委託を廃止した場合には、行政文書等の送達業務を職員が行わなければならないが、専任職員や運搬車等の配置は困難であり、大量の文書を送達するために本事業を継続して実施するものである。				

事務事業分析シート

所属名	教育総務室	事業名	通送便送達事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01378				

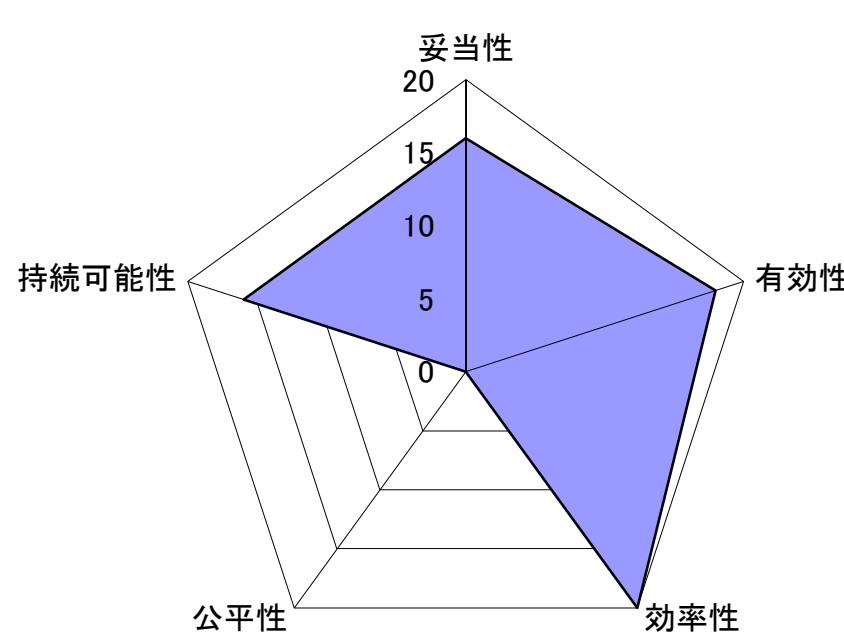
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	教育総務室	事務事業番号	01378
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>定期的に送達が必要な文書に加え、大阪府等から送付される冊子等は児童・生徒数と同じものもあり、大量の文書等を効率的に送達しなければならない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)